

国際ロータリー 第2500地区 第4分区

遠軽ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3142回例会記録

日時：2024年11月14日(木)12:30~

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：高井 一博 SAA⑤

★開会点鐘：乾 淳 会長

★国歌：君が代

★Rソング：奉仕の理想

★四つのテスト：佐竹 聖吉 君



2024-2025年度 国際ロータリーテーマ

2024~2025 Weekly Report No. 18

本日のプログラム

11月21日(木)18:00~

夜間例会

親睦活動委員会

次回のプログラム

11月28日(木)12:30~

ゲスト卓話 北海道遠軽

高等学校長 尾形 友秀 様

小谷典之RID2500ガバナーズローガン：ロータリーに参画しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために

乾 淳 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：歴史と誇りを胸にさらなる発展を！

歴代会長へ記念品贈呈

高井 一博 SAA⑤

遠軽RC創立65周年記念に当たり、第61代会長 渡辺 勉会員②、同62代 島田光隆会員④、同63代 本間克明会員、同64代 高井一博会員⑤、同65代 高橋義詔会員①へ記念品を乾淳会長③より贈呈します。

会長報告

乾 淳 会長③

本日の会長報告ですが、ロータリーの点鐘についてお話ししたいと思います。

皆さん毎週の例会で点鐘を聴かれていますと思います。ロータリーでは例会等の開会、閉会時に鐘を鳴らすのは常識だと私は思っていました。しかし、世界のロータリークラブでは、例会等で鐘を鳴らすクラブは数少ないそうです。この点鐘は日本独自のもののようです。

外国では点鐘の代わりに“お静かに願います”との発言があって例会が始まり、あるいは発言に続くお祈りの後、例会がスタートするケースが多いようです。鐘を鳴らす場合も、食事が済んで幹事報告やスピーチが始まる前に鳴らすのが一般的で、木槌を叩くこともあるようです。

いずれにしても開会、閉会時に鐘を鳴らすのは日本だけのようであります。

では、このロータリーの点鐘は、いつどこで始まったのか。一説によりますと1920年頃に東京のロータリークラブで使ったのが始まりで、あとは右にならえ、となったのではないかとされておりま。日本人は、学生の時から、鐘の音がするチャイムで行動することになっているので、ロータリーの点鐘も、けじめをつける意味で、日本人に合っているのかもしれないし良い意味で緊張をもたらしてくれるとも思いますので、今後も日本のロータリーの常識であり続けてほしいと思っております。

次に、12月の年次総会に向けて本日より次年度の役員ならびに理事の立候補を受け付けます。立候補をされる方は、次週21日の例会までに、書面にて事務局へ提出をお願い致します。

幹事報告

石井 朋子 幹事

1. ガバナー事務所よりカルガリー国際大会の北海道ナイトのご案内、回覧。
2. ハイライト米山296号、回覧。
3. 65周年記念写真の件、既に実行委員会で準備を進めていたため、配付しました。



委員会報告

◇長嶋 宏明 親睦活動委員長

- ・11月の結婚記念日、おめでとうございます。
乾 淳君⑦ 高井一博君⑥ 木村一則君
黒坂貴行君⑧ 井上英勝君
- ・11月の誕生日、おめでとうございます。
遠藤利秀君 木村一則君
- ・12月19日18時よりクリスマス家族会の案内。
- ・毎年恒例のファイターズの観戦、現在来年4月26日(土)出発、27日(日)観戦、帰宅で進めております。

◇福家 貢 会員

先日の父の葬儀にあたり、皆様には大変お心づかいを頂きありがとうございました。

本日のプログラム 会員卓話

シャンティ国際ボランティア会(SVA)について

国際奉仕委員会副委員長 川村 寿光 会員

私の曹洞宗のボランティア会は44年ほど前、1980年に設立されまして、翌年1981年にシャンティ国際ボランティア会という名前前で正式に【2面へ】
【名前等の○数字は写真の中の番号】

本日のプログラム 会員卓話



【1面より】国連難民高等弁務官事務所にも登録をさせて頂いて活動している団体です。

シャンティというのは昔のインドの古いパーリ語で、平和だとか平安というものを意味する言葉です。明光寺は設立から4年後の1984年に加入しまして、今年で40年目になります。檀家さんにもご協力頂き、毎年3万円から5万円ほど集まり、それを送り、塵も積もれば山となるので累計100万円以上の寄付をさせて頂いています。

1980年当時、カンボジアの内戦がありました。ポルポト派、クメールルージュが台頭してきて、教育を行わないで自分たちの言うことを聞かせようという思想のもと、教師、お坊さん、政府の役人とか、知識人とされた人達が数10万人単位で殺されております。内戦が終了してこれから国を立て直すというときに、世界各国や国連はお金や物とかは沢山援助をしておりましたが、その中で我々曹洞宗の方ではどういう支援が良いのか考え相談した結果、SVAは将来の国を担っていく人材を育てることに注力すべきとなりました。

戦争や紛争、等々で傷ついて親を亡くした子、あるいは親も食べるのに精一杯で、子供たちも食べるに食べられないような状況の中で、少しでも子供たちがすごせる居場所をつくらう。そのための集会所を作って、そこに絵本を置いて、小さい子供には読み聞かせをして、大きい子供には図書館で好きな本を読む環境を作りましょうということで活動が始まりました。

日本の絵本を寄付して、その絵本にカンボジア語のシールを貼って、そして子供たちに聞かせるということも行いました。それがずっと続いておまして、カンボジアではもう40年も経ちますが、そこで育った子供たちが、文字を読めるようになって大学に行けたり、いろんな社会に出て活躍をするようになってきて、教師になって、そこでまた子供たちを教えられるというすごい循環が見られております。

その当時、私もタイにいて、バンコク市内にもスラム街がありました。そこにまず国際ボランティアの事務所を立上げて、カンボジア、あるいはそのスラムの支援を行って、アラブの中にも図書館を建てて、そして同じように読み聞かせをする、あるいは図書館で読みたい本を読んでもらって勉強してもらう。そして

同じように読み聞かせをする、あるいは図書館で読みたい本を読んでもらって勉強してもらう。そしてボランティア会の資金で学校に行く資金や留学資金を出したりという形での援助を行っており、その中からは、今、タイの外務省に勤めて一等書記官になって国王や政治家についてロシアに行ったり通訳をしたりする、そういう子も出てきたり、あるいはカンボジアでもテレビキャスターを務めておる方も出てきたりという素晴らしい結果が出てきております。現在、日本を含めて7カ国でそういう活動を行っており、アフガニスタンの内戦の所にも行って議論したり、ネパールとビルマ軍政の中での内戦がある所に行って子供たちに手を差し伸べる活動を行っています。

今年の1月1日の能登地震の時には、お茶とお菓子を用意して、被災者の方々と懇談をする場を作るなど致しました。東日本大震災の時も活動致しました。あちこち被災地に行っは、心のケアとかを主に行っている団体です。

このボランティア会は、1冊の本から希望を見出し、自らの未来を切り開いてほしいという理念のもとに活動している団体だということをご理解頂たいと思います。

カンボジアはじめラオスだとか、なかなか国がお金なくて教育に手が回らないところもあります。そういうところに、ここの44年間で学校建設は456校、図書館図書室設置は1,063館で、本の出版は7万5,463冊出版しております。また、子どもさんたちに絵本を配布する運動で約40万冊を子どもさんたちに配布したりしております。図書館で本を読んだり、両親が働いて家にいられないなどで図書館で時間を過ごす方々が、今までに168万1,000人。図書館員だとか教員のための研修会参加者が約6万人にもなっております。

他にも各国の少数民族などの手工芸品だとか、各国の独特の模様を刺繍したバッグとかポーチとか、そういうものをこのボランティア会が買い上げて、日本で販売して好評を得ており、そういう方々に作る喜びを与えられ、生活の安定にも寄与するという事業も行っている団体です。

曹洞宗ボランティア会というのは、そういうお金だけでなく子供たちの教育、長い目で見た教育というものを重視している団体であるということをご理解頂たいと思う次第です。

ニコニコBOX 長嶋 宏明 親睦活動委員長

乾 淳君	結婚記念日	5,000円
高井一博君	結婚記念日	5,000円
黒坂貴行君	結婚記念日	5,000円
井上英勝君	結婚記念日	5,000円
遠藤利秀君	誕生日	5,000円
福家 貢君	父の葬儀のお礼	10,000円
2024-25年度合計		286,000円

☆閉会点鐘：乾 淳会長 ☆今号会報担当：西 清治委員
2024-25_18th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
河原英男 出席副委員長	11月 7日	46	44	訂正35	1	81.8%	
	11月14日	46	44	27		61.4%	

編集・発行：メディア委員会	
委員長：佐藤直也	副委員長：東海林勉
委員：加藤幸徳	木村一則 西 清治
前島英樹	宇野 勝

2024-2025年度 国際ロータリー
会長：ステファニーA.アーチック(アメリカ)
第2500地区ガバナー：小谷典之(帯広西RC)
第4分区分ガバナー補佐：山中憲一(紋別港RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：乾 淳 副会長：金谷正一
会長エレクト：大西孝弘 幹事：石井朋子
会計：島田光隆 SAA：高井一博
直前会長：高橋義詔 事務局員：西野真那美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail:info@engaru-rc.com
【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)

